

巻機山・妙義山山行報告書

(山域) 越後三山(巻機山)・西上州(妙義山)
(コース) 下記個別山行報告参照
(日時) 5月21日(土曜日)～5月22日(日曜日)
(天候) 下記個別山行報告参照
(山行タイム) 下記個別山行報告参照

(巻機山山行報告)

(日時) 5月21日(土)

(コース) 桜坂駐車場～ニセ巻機～巻機山～牛ヶ岳～巻機山～桜坂駐車場

(天候) 晴れ

(山行タイム) 桜坂駐車場 6:47～ニセ巻機 9:20～巻機山 10:05～牛ヶ岳 11:30～駐車場 14:35

(参加者) CL: 内堀(記録)・小宮山・宮城

金曜日の夜、小宮山さん宮城さんを拾い、首都高・外環道から関越道に向かい上里SAで休憩して、その後は一気に塩沢石打ICで降りて、コンビニに寄り、道の駅「南魚沼」でテントを張り軽い宴会を行い、2:00には就寝した。翌朝は5:00頃起床してお湯を沸かし朝食を済ませた。車に乗り巻機山登山口である、桜坂駐車場に向かう。6:25頃到着して登山準備を行う。

最後にトイレに行き出発準備完了である。駐車場には結構車が止まっており、県外ばかりである。人気の山なのか？初めはスロースタート気味に進むが、後ろから迫って私の靴を踏む勢いで来るため、こちらも自然と早くなり途中より息が切れ気味になり、時間を見ると30分経過、標高差は300m上がったことになる。4合目を過ぎると5合目までが長く、6合目が中々現れず、6合目手前で1本目の休憩に入る。1時間で標高差500m登ったことになる。

奈々ちゃんは、朝食後、胃の調子が悪く、(食べ物が当たったのか?)食べられないため、アミノ酸・健康補助食品(プリン)を食べ、復活する。次の1本でニセ巻機まで行きたいと思ったが、中々到着せず、50分を過ぎたあたりから景色が開け、ニセ巻機が見えた。これから根性を入れ1時間15分でニセ巻機に到着した。展望が急に開け巻機山が私達を迎えてくれる。何と良い景色であろう。休憩後、巻機山に向かう途中で、池塘に水芭蕉が咲いていた。こんな所で会えるとは嬉しい限りである。心が癒されたところで、山頂を目指し巻機山山頂に到着する。標識あり。時間が早いな、おかしいなと思いつつ記念撮影を済ませ、時間があるため、牛ヶ岳を目指す。そうすると、10分程度で人が居る場所発見ケルンがある。此处にいる人からここが、巻機山であると伝えられる。エッと思いGPSで確認すると、確かにここが巻機山山頂である。

先ほどの場所とは確認すると、御機屋であり、井戸尾根コース分岐とある。山頂の標識出すのは良くないじゃないかと思ったがしかたない。そのまま、追加して牛ヶ岳を目指す。此处も山頂標識がなく判り難いGPSで確認して、景色の良さそうな場所で暫しの休憩に入る。

此处からの景色はすこぶるよく、正面には越後の山々が良く見える。八海山・越後駒ヶ岳・中ノ岳等、右を向くと平ヶ岳がいる。今年は雪が少なく、残雪登山とはならなかった。

軽アイゼンを持参したがどこも使用する箇所は無かった。休憩後は避難小屋まで戻り、お湯を沸かし長い昼食タイムとした。昼食後は12:25頃出発して、2時間10分程度で登山口に到着した。途中石楠花の花が咲いていて私達を楽しませてくれた。普段は固く嫌なものであるが花が咲くと美しいものである。この時期に限っては、邪魔にするものではないね。

下山時、登りが拍子抜けするほど簡単に登ってしまったため、短いと踏んでいたが、下山があまりに長かったため、登り頑張ったと皆で喜んだ。

下山後は、六日町の「湯らりあ(400円)」で汗を流した。お風呂が暑く長く浸かれなかった。湯でタコになってしまう。入浴後は、IC側のイオンで夕食・朝食の分を買出しして、明日の山行場所である妙義山登山口である、道の駅「みょうぎ」に向かう。

夕食はサッパリとして、冷ややっこ、キュウリ・ソーセージ・シーチキンのマヨネーズ和え、

サーモン・キノコホイル蒸し、イカのふ焼き（2匹）を平らげ、酒を飲み 21:00 過ぎに就寝した。
奈々子ちゃんの調子が今一つで酒の吸い込みも悪く早めの切り上げとなる。お休みなさい。



(妙義山山行報告)

(日時) 5月22日(日)

(コース) 金鷄橋～ホッキリ～茨尾根～相馬岳～白雲山～大の字～妙義山神社

(天候) 晴れ

(山行タイム) 金鷄橋 6:30～ホッキリ 8:00～相馬岳 9:37～妙義山神社 14:35

(参加者) CL: 内堀(記録)・小宮山・宮城・岸野・佐藤

前日の睡眠不足が解消できず、若干疲れ気味で起床する。4:00頃でした。

朝食よりラーメンに餅を入れガッツリ食べる。テント撤収・片付けを終え、早朝出発するメンバーと合流するが、中々現れず、6:00少し前に到着する。佐藤さんの車を道の駅第二駐車場に止め私の車で金鷄橋付近の駐車場を目指す。本来なら中ノ嶽神社に止めて、去年とは別の石門より中ノ嶽から東岳、鷹戻しに進み、妙義神社進む予定であったが、1週間前より鷹戻しの梯子が壊れ通行止めになっており、鷹戻し先の堀切(ホッキリ)より入り、相馬岳・白雲山より妙義神社に向かう計画とした。そのため、ホッキリに向かうまでの道のりが長く、急登のため、一汗・二汗をかき体としては、良いウォーミングUPになった。ホッキリからは岩場が出てきて、茨尾根を進むと、茨尾根のピークを過ぎて、危険箇所が現れ、今回は下りのため、ロープを出して懸垂下降で順次降りる。その後は、危険箇所も鎖等があり順調に進んでいく。表妙義最高到達点である、相馬岳に到着する。暫し記念撮影などをする。相馬岳に来ると反対方向から来た人たちと会う。我々逆方向のため、ここまで2組しか会わずラッキーであった。妙義神社からのほうが多く、渋滞が予測された。去年も渋滞に巻き込まれ時間が掛かってしまった。

相馬岳を過ぎると岩場が連続して慎重に進むが、白雲山が見つけられず何時の間にか通過してしまふ。気が付いた時には天狗岩でした。その先キレットが現れ、有名な滑り台状30m鎖に到着する。安全第一として、ロープを出して登り皆さん無事通過する。大のぞきを過ぎビビリ岩に到着する。ここも安全第一、ロープを出し懸垂下降にて通過する。途中、お腹がすき昼食タイムに入る。本日晴れ温度も上昇して、相当暑い。これからは水分補給が重要だなと思う。

昼食後は、奥之院手前の岩場の下りを、やはり、ロープを出して懸垂下降にて無事降りる。

大の字に登り、皆で記念撮影を行う。家族連れの小学生二人が大の字に先行して上がっていた。

我々の声援もあり無事大の字に到着した。良かった。良かった。

そこより、一気に下り妙義神社に到着して、この暑さのせいで、手水舎で全員水分補給してしまった。罰が当たらないか心配したが、帰りの車の運転では当たらなかった。良かった。

道の駅「みょうぎ」にて車の回収を行い、「もみじの湯」にて汗を流し、帰葉する。

二日とも暑く水分補給が重要で、水の量を少し多めにしないと行けないと思った。また、山ツツジが咲いており、見事であった。紅葉も綺麗でしたが、この時期も見逃せないと思った。

それと最近、私のヘルメット、何時も曲がっている。トレードマークになるか？

付け方が悪いか緩いか、頭の形が悪いかである。変なオジサンであること間違いないな。





